

薬学委員会化学・物理系薬学分科会(第25期・第1回) 議事要旨

日時：2021年1月8日 10:00～12:00

開催場所：zoomによるオンライン開催

出席委員：遠藤 玉夫、佐治 英郎、内山 真伸、加藤 晃一、武田 真莉子、
徳山 英利、永次 史、長野 哲雄、樋口 恒彦、眞鍋 史乃

欠席委員：井上 豪

書記：内山 真伸・眞鍋 史乃

議題：

1) 前回分科会議事要旨案が別紙のとおり確認された。

2) 委員の自己紹介

3) 委員長、副委員長、幹事の選出

委員長：東北大学 永次 史 教授、副委員長：名古屋市立大学 樋口 恒彦
教授

幹事：東京大学 内山 真伸 教授、星薬科大学 眞鍋 史乃 教授

4) 東京都健康長寿医療センター研究所 遠藤 玉夫 シニアフェローの薬学
委員会化学・物理系薬学分科会委員の辞退が認められた。

5) 室蘭工科大学 庭山 聡美 教授の薬学委員会化学・物理系薬学分科会の
委員としての追加が認められた。

6) 薬学委員会 化学・物理系薬学分科会の第25期の活動について

佐治幹事より資料3、4に基づき、日本学術会議幹事会において提案された
日本学術会議のより良い役割発揮に向けた中間報告及び今期の分科会の活
動についての見直しについて説明がなされた。その後、各委員から今期の活
動について以下の意見がだされた。

① 提言・分科会主催シンポジウムについて

学会とは異なる観点から、日本学術会議ならではの大学高所からの企画が

できないか。

② 博士人材育成について

博士課程学生の増強に向け、奨学金制度やアカデミアにおける新しい教育制度の構築が必要であることが確認された。

③ 6年制教育における薬学部研究の在り方・薬剤師教育について

7) その他

① 二部分野別委員会・分科会委員長へアンケートについて(資料6)

新型コロナウイルス感染症に関連した活動を計画しているかどうかのアンケートが実施されており、このアンケートに対してどのように回答するかについて議論され、特に企画がないとのことであったので、その旨回答することとした。

② シンポジウム「「モダリティーが切り拓く次世代創薬」の報告

眞鍋委員より本シンポジウムは493人の登録があり非常に盛会であったことが報告された。ただ学術会議主催で行うシンポジウムとして、科学的助言や問題提起もあればなお良いという意見も寄せられた。今後、「日本学術会議のより良い役割発信に向けて（中間報告）」内の科学的助言機能の強化と合わせて検討することとした。